

## 東北プロジェクト 特別講義「原子力と放射能」が開催される

2018年8月10日、東北プログラム参加者を対象とした特別講義、「原子力と放射能」が本学専任教員、平尾淳一教授により行われた。当日は東北プログラムへの参加者はもちろん、昨年度の東北プログラムの参加者も参加し、原子力と放射能についての理解を深めていった。

アクティブ・ラーニング東北プログラムは、被災から7年を経過した被災地の現状について福島や宮城で学び、我がごととして多角的に考え、今後の人生に活かしていくことを目的としている。その中では、希望者に対して福島第一原子力発電所の見学の機会が提供されている。強制ではないので、自らが知識を習得し、見学する、しないを参加者個人が判断することになっている。今回の特別講義は、その判断の際に役立ててもらおうという趣旨で開催された。

平尾教授からは、事前に当日の資料とそれを基にした確認テストが配付され、それを解いた上で、講義に参加する形がとられた。講義内容としては、物質の成り立ち、エネルギーについて、放射能について、原子核エネルギーの利用について、エネルギー問題について、であり、約2時間半にもわたって講義が行われた。

何事も議論をするためには、前提としてその対象への知識を習得しておくことが必要となる。昨今、原発をめぐる議論が展開されているが、それに対し自分の考えを持つためにも、今回の平尾教授による特別講義は大変有用になるものであったと思われる。

非常に興味深い話であったので、もっとじっくりと聞きたいと思う学生が多かったかもしれない。あっという間に時間が来てしまったと思えるほど、興味深く聞き入る特別講義であった。次年度も開講する方向で検討していきたい。



平尾教授の特別講義の様子